社協評価事業（社協力向上プロジェクト事業）総括評価

社協名	社会福祉法人　上関町社会福祉協議会
第三者評価日	令和６年１０月２９日（火）
現時点の 社協力	**（第三者評価者の視点）「社協の現在の姿の一部」** 〇小規模組織ならではの円滑な意志疎通と住民ニーズへのフットワークの良い対応 ・定期的な職員会議を通じて情報や課題を共有するなど、職員数の少なさをカバーするための仕組みを整えられている。 ・事務局長のリーダーシップと行動力に加え、職員のフォロワーシップが強く、チームとしての結束力がある。 ・職員個々のフットワークの良さにより、超高齢社会の住民ニーズに対応するとともに、社協事業が支えられている。 ・事務局職員に対する役員の理解があり、社協事業の円滑な推進を支えている。 〇町行政との緊密な連携による事業展開 ・行政財政の厳しい中、中期的な法人運営経費に対する公費負担が確保されている。 〇住民ニーズの把握と適切に対応した取組の実施 ・小規模な町域であり、住民との「顔の見える」関係が形成され、また、住民座談会　を町行政と一体となって実施し、実質的なニーズ把握がなされている。 ・ふれあい・いきいきサロンやボランティア活動との接点を持つことを心掛け、事業等を通じて把握した住民ニーズに対して、迅速に対応し、支援を行う姿勢がある。 ・アンケート調査により住民ニーズを把握し、将来の買い物への不安に対し、生協や　コンビニエンスストアの移動販売とマッチングしている。 ・生活支援体制整備事業の訪問型サービスＢ、Ｄを活用した送迎サービスの実施など、事業や活動の中で住民の声を聞いている。
	（上関町社協側の視点）「強み：ＰＲポイント」 小規模であることから地域住民の繋がりがあり、行政との連携により地域の課題に対して住民目線で取り組んでいる。高齢化が著しく進む中、地域住民（担い手）の負担を減らしつつ、福祉活動に取り組む。
３年後に めざす社協像	高齢化が進み更なる担い手不足が予想されるが、行政・他法人・関係団体等の連携により、負担を削減しつつ、福祉活動の取り組みが推進できる体制をつくる。

社協力向上 経過レポート	**（令和７年度）** 《実施状況》 目標１　職員増員 目標２　就業規則見直し 目標３　他団体との取り組みや情報の共有 《成果》 １　行政や関係機関との協議により予算を確保し、職員を増員することができた。 ２　見直し計画（令和８年度に向けて山口県社会福祉協議会の協力） ３　行政中心に情報共有は進み、複合的な見守りの活動に展開予定（R８）
	（令和８年度）※令和９年度に記載、公開。 《実施状況》 《成果》
	（令和９年度）※令和１０年度に記載、公開。 《実施状況》 《成果》